マナビエ
MANABIE

記述の設計図　第1部 土台

U01　記述は「材料の組み立て」

ベーシック

対象：小学5年・偏差値55〜60

1. 要点（ルール）
2. 例題　物語文「朝の水やり」
3. 練習1・練習2（解答らんつき）
4. 解答と採点表

要点　記述の土台のルール

R01-1　記述は6つの工程でできる

①読んで根拠を見つける → ②問いを読む → ③材料を集める → ④文にする → ⑤型にあてはめる → ⑥見直す。記述は「思いつき」ではなく、本文から集めた材料を組み立てて作る。

R01-2　本文主義

答えの材料は本文の中にある。本文に書いていないこと（自分の想像・感想・「ふつうはこうだ」という知識）は入れない。登場人物の「〜じゃないの」という想像も、本文があとで正しいと書いていなければ材料にしない。

R01-3　最後まで読んでから解く

記述問題は、本文を最後まで読んでから書く（例外なし）。答えの材料は――線部より後ろに書いてあることが多い。漢字・言葉の意味・接続語の空らんは読みながら解いてもよいが、最後まで読んだら、その前後をもう一度読んで確かめる。

R01-4　話しかけながら読む（対話と予測）

「なぜ？」「どういうこと？」と文章に話しかけ、「しかし」「では」が来たら次を予想しながら読む。予想は外れてよい。予想と本文がちがったら、本文のほうに合わせる（予想は答えではない）。

R01-5　本文の言葉で書く

答えは、なるべく本文の言葉で書く。自分の言葉に言いかえるのは3つのときだけ＝①たとえ（比喩。「ドキドキ」などの様子を表す言葉・くだけた言い方もふくむ）②指示語（それ・この など）③具体例（長い例は短くまとめる）。

R01-6　短く分けて、つなぐ

いきなり全部を書こうとしない。材料を本文から短く1つずつ書き出し（段落の番号もいっしょに）、それから1文につなぐ。

R01-7　採点は要素ごと

答えは「要素ごとの点」で採点される。いちばん大事な要素が5点、それを支える要素が3点、形（だれが・文のおわり）が2点。根拠のない要素は0点で、字数を1字でもこえると採点されないことが多い。

ルールの番号（R01-〇）は、講座全体の通し番号です。動画・Webページ・このPDFで同じ番号を使っています。

例題　物語文「朝の水やり」

① 五年二組の教室のまどべには、アサガオのはちが一つ置いてある。夏休みが明けてから、ユイは毎朝、だれよりも早く教室に来て、そのはちに水をやっていた。

② ソウタは、ふしぎに思った。水やりの係は、二学期になってから決まっていない。一学期にアサガオを育てていたリナは、七月に転校してしまったからだ。

③ 「ユイって、先生にほめられたいんじゃないの。」

④ 休み時間、ソウタがそう言うと、となりの席のケンも「そうかもね」とうなずいた。けれども、先生がユイの水やりについて何か言ったことは、一度もなかった。

⑤ 九月の終わりのある朝、ソウタはわすれ物を取りに、いつもより早く学校へ行った。教室には、もうユイがいた。ユイははちの前にしゃがみこみ、ふくらみはじめた小さなつぼみを、じっと見つめていた。

⑥ 「さくまで、あと少しかな。」

⑦ ユイはひとりごとのように言ってから、ソウタに気づいて、少しはずかしそうにわらった。

⑧ 「リナちゃんがね、転校する日に、『花がさくまで、このアサガオをおねがい』って言ったの。さいたら写真をとって、手紙で送るって約束したんだ。」

⑨ ソウタは、何も言えなかった。ほめられたいんじゃないの、と言った自分が、急にはずかしくなった。

⑩ 次の日の朝、ソウタも、いつもより少しだけ早く家を出た。

問　――線部「だれよりも早く教室に来て、そのはちに水をやっていた」とありますが、ユイが毎朝そうしていたのはなぜですか。五十字以内で説明しなさい。

解き方

1. **工程①　最後まで読む（話しかけながら）**
   ①段落で「なぜ毎朝？」と話しかけて読む。③④段落のソウタの考えで止めずに最後まで読む。答えは⑧段落＝――線部よりずっと後ろ（R01-3）。
2. **工程②　問いを読む**
   「なぜですか」＝理由。五十字以内。文のおわりは「～から。」。
3. **工程③　材料を短く書き出す**
   ⑧：転校するリナに「花がさくまで、このアサガオをおねがい」とたのまれた。／⑧：さいたら写真を送ると約束した。／⑤⑥：花がさくのを待っている。
4. **工程③の続き　本文主義でえらぶ**
   ③段落「先生にほめられたい」はソウタの想像。④⑧⑨段落で打ち消されているので材料にしない（R01-2）。

5. 工程④⑤⑥ 文にして見直す

きっかけ(リナにたのまれた)→ いちばん大事なこと(約束を守って花をさかせたい)→「～から。」。本文にないこと(アサガオが好き・リナと親友)が入っていないか、字数は五十字以内かを見直す。

要素表(材料を集める)

要素	中身	根拠	入れる？
いちばん大事なこと	約束どおり花をさかせて、写真を送りたかった	⑤⑥⑧	◎ 入れる
きっかけ	転校するリナに、花がさくまでアサガオをたのまれた	⑧	○ 入れる
ソウタの想像	先生にほめられたかった(④⑨で打ち消されている)	③	× 入れない
根拠なし	アサガオが好きだった／リナと親友だった	なし	× 入れない

模範解答

模範解答 49字／50字以内

転校するリナに花がさくまでアサガオをたのまれたので、約束どおり花をさかせて写真を送りたかったから。

採点表

採点表(要素ごとの配点)	点
いちばん大事なこと:約束を守って花をさかせたい(さいたら写真を送りたい)	5点
きっかけ:転校するリナに、花がさくまでアサガオをたのまれた	3点
だれとの約束かがはっきりしている(リナ)	1点
文のおわりが「～から。」	1点
合計	**10点**

減点の型(こう書くと)	何点になる？ なぜ？
「先生にほめられたかったから。」	③段落のソウタの想像。本文では④⑧⑨段落で打ち消されている。0点。途中で読むのをやめると、この答えになる。
「アサガオが好きだったから。」	本文のどこにも書いていない(根拠なし)。0点。
「リナとの約束を守るため。」	方向は合っているが、何の約束か(花がさくまで育てる・写真を送る)が無い。10点中6点。
五十一字以上	字数オーバー。採点されないことが多い(0点)。

練習1　説明文「V字に飛ぶ鳥」

① 秋になると、ガンやハクチョウなどのわたり鳥が、北の国から日本へやって来る。空を見上げると、鳥たちがV字の形にならんで飛んでいることがある。どうして、あのような形で飛ぶのだろうか。

② 鳥がつばさを上下に動かすと、つばさの先のあたりに、小さな空気のうずが生まれる。そのうずのすぐ外がわでは、空気が下から上に向かって流れている。

③ V字にならんだ鳥は、前の鳥のまうしろではなく、つばさの先の、少しななめ後ろを飛んでいる。ちょうど、その上向きの空気の流れがあるところだ。後ろの鳥は、この流れに乗ることで、羽ばたく力を少なくして飛ぶことができる。V字の形は、楽をするための知恵なのである。

④ ただし、先頭の鳥だけは、前にだれもいないので、この流れを使うことができない。そのため、先頭の鳥はほかの鳥よりつかれやすい。そこで鳥たちは、ときどき先頭を交代しながら飛んでいく。

⑤ 何千キロメートルもはなれた土地まで、鳥たちは何日もかけて旅をする。その長い旅を、鳥たちは、こうして力を分け合いながら続けているのである。

問　――線部「楽をするための知恵」とありますが、V字にならんで飛ぶと、なぜ楽ができるのですか。本文の言葉を使って五十字以内で説明しなさい。

① 要素表を書こう

材料(短く書き出す)	中身	根拠の段落

② 答えを書こう

10　20　30　40　50

50字以内(1マスに1字。句読点も1字)

練習2　物語文「胸の中の石」

① 昼休み、カイはリクのスケッチブックをのぞきこんで、「なんだ、それ。ぜんぜん犬に見えないよ」とわらった。リクは何も言わずに、スケッチブックをとじた。

② 午後の授業のあいだ、カイはずっと落ち着かなかった。リクは、一度もこちらを見なかった。あれは、リクが図工の時間に、いちばん時間をかけてかいていた絵だった。カイは、そのことを知っていたのだ。

③ 帰り道、カイは、ランドセルがいつもより重く感じた。言わなければよかった。でも、どうやってあやまればいいのか、わからなかった。

④ 夕方、カイは思い切って、リクの家のインターホンをおした。出てきたリクに、カイは下を向いたまま言った。

⑤ 「昼休みは、ごめん。あの犬、ほんとうは、毛のところがすごくうまいと思ってた。」

⑥ リクは少しおどろいた顔をした。それから、「明日、続きをかくから、見て」と言った。

⑦ その帰り道、カイは、胸の中の石が、すっと消えたように感じた。夕焼けの空を見上げながら、明日はリクの絵を最後まで見よう、と思った。

問　――線部「胸の中の石が、すっと消えた」とありますが、これはどういうことですか。六十字以内で説明しなさい。

① 要素表を書こう

材料(短く書き出す)	中身	根拠の段落

② 答えを書こう

									10										20
									30										40
									50										60

60字以内(1マスに1字。句読点も1字)

解答と採点表

練習1　説明文「V字に飛ぶ鳥」

解き方

1. **工程①　最後まで読む**
   ①段落の「どうして、あのような形で飛ぶのだろうか」に「なぜだろう？」と話しかけて読む。答えは②③段落にある。④⑤段落も読んで、先頭の鳥の話が「楽ができる理由」とは別の話だと確かめる。

2. **工程②　問いを読む**
   「なぜ楽ができるのですか」＝理由。「本文の言葉を使って」とあるので、言いかえは最小限にする（R01-5）。

3. **工程③　材料を短く書き出す**
   ②：つばさの先にうずができ、その外がわで空気が上に向かって流れる。／③：後ろの鳥は、前の鳥のつばさの先のななめ後ろを飛ぶ。／③：その流れに乗ると、羽ばたく力が少なくてすむ。

4. **工程④　本文主義でえらぶ**
   「前の鳥が風よけになるから」は、よく聞く話かもしれないが、本文には書いていない（R01-2）。「先頭を交代するから」は④段落の、先頭の鳥がつかれる話で、――線部の理由ではない。

5. **工程⑤⑥　つないで見直す**
   どこにできる流れか（前の鳥のつばさの先）→ その流れに乗ると力が少なくてすむ、の順につなぎ「～から。」。

要素表

要素	中身	根拠	入れる？
いちばん大事なこと	上向きの空気の流れに乗ると、羽ばたく力を少なくして飛べる	③	◎ 入れる
支えること	その流れは、前の鳥のつばさの先（の外がわ）にできる	②③	○ 入れる
別の話	先頭の鳥はつかれるので交代する	④	× 入れない
根拠なし	前の鳥が風よけになる	なし	× 入れない

模範解答

模範解答　48字／50字以内

前の鳥のつばさの先の外がわにできる上向きの空気の流れに乗ると、羽ばたく力を少なくして飛べるから。

採点表

採点表(要素ごとの配点)	点
いちばん大事なこと:上向きの空気の流れに乗ると、羽ばたく力が少なくてすむ	5点
支えること:その流れは、前の鳥のつばさの先(の外がわ)にできる	3点
本文の言葉を使っている(勝手な言いかえをしていない)	1点
文のおわりが「〜から。」	1点
合計	**10点**

減点の型(こう書くと)	何点になる？ なぜ？
「前の鳥が風よけになってくれるから。」	本文に書いていない(根拠なし)。0点。
「ときどき先頭を交代しながら飛ぶから。」	④段落の、先頭の鳥がつかれる話。楽ができる理由ではない。0点。
「空気の流れに乗れるから。」	どこにできる流れか・乗るとどうなるかが無い。10点中4点。

練習2　物語文「胸の中の石」

解き方

1. **工程①　最後まで読む**
   ①〜③段落で、カイが何を気にしていたかを読む(リクの絵をわらった・あやまり方がわからない)。④〜⑥段落で、あやまったあとリクがどう答えたかを読む。

2. **工程②　問いを読む**
   「どういうことですか」＝——線部を、わかる言葉に言いかえる。文のおわりは「〜ということ。」。

3. **工程③　たとえを言いかえる**
   「胸の中の石」はたとえ(比喩)。自分の言葉にしてよい3つのうちの1つ(R01-5)。石＝ずっと気にしていた重い気持ち(③段落「ランドセルがいつもより重く」も同じ気持ちを表している)。「すっと消えた」＝ほっとした・安心した。

4. **工程④　材料を短く書き出す**
   ①②:リクがいちばん時間をかけてかいた絵を、わらってしまった。／③:言わなければよかった(気にしている)。／⑤⑥:あやまると、リクは「明日、続きをかくから、見て」と言った。

5. **工程⑤⑥　つないで見直す**
   何を気にしていたか → きっかけ(あやまると、リクが続きを見てと言ってくれた)→ ほっとした、の順。「ゆるしてもらえた」とは本文に書いていないので、リクの言葉どおりに書く(R01-2)。

要素表

要素	中身	根拠	入れる？
いちばん大事なこと(たとえの言いかえ)	ずっと気にしていた重い気持ちがなくなり、ほっとした	③⑦	◎ 入れる
何を気にしていたか	リクがいちばん時間をかけてかいた絵を、わらってしまった	①②	○ 入れる
きっかけ	あやまると、リクが「明日、続きをかくから、見て」と言ってくれた	⑤⑥	○ 入れる
根拠なし	リクと親友になれた／先生にしかられずにすんだ	なし	× 入れない

模範解答

模範解答　57字／60字以内

リクの絵をわらったことをずっと気にしていたが、あやまるとリクが続きを見てと言ってくれたので、ほっとしたということ。

採点表

採点表(要素ごとの配点)	点
いちばん大事なこと：気にしていた重い気持ちが消えて、ほっとした(安心した)	5点
何を気にしていたか(リクの絵をわらった)と、きっかけ(あやまると、続きを見てと言ってくれた)	3点
たとえ(石)を使わずに、自分の言葉で言いかえている	1点
文のおわりが「～ということ。」	1点
合計	**10点**

減点の型(こう書くと)	何点になる？ なぜ？
「胸の中の石が消えたということ。」	たとえのまま。何も言いかえていない。0点。
「リクと親友になれて、うれしかったということ。」	「親友」は本文に書いていない(根拠なし)。いちばん大事な5点が入らない。
「ほっとしたということ。」	何を気にしていて、なぜほっとしたのかが無い。10点中5点。

マナビエ
MANABIE

記述の設計図　U01 材料の組み立て（ベーシック）

© MANABIE　無断転載・複製・改変・再配布を禁じます